# NIMS 平成１４年度年報　材料研究所報告

材料研究所長　吉原　一紘

材料研究所の研究範囲は以下の３分野に分かれ、１６研究グループ、９１名で、研究を実施しています。

・ 高比強度、高融点、超耐熱などの機械的性質を活かした材料とその表面界面制御及び信頼性評価技術の研究開発。

・ 非周期、機能融合、電磁、光学、無機・有機・金属・半導体の機能材料の研究開発。

・ 微細組織、反応ダイナミックス、高輝度光利用、ナノフォース解析、微粒子、高度材料プロセスの材料全般に係わる基盤技術の研究開発。

材料研究所の大きな目標は、「国民の生活の向上に関わる材料開発に関し、企業との共同開発が可能となるような基盤的な研究の推進」です。 その際、企業との共同研究を積極的に行い、産業界との密接な連携を保ちつつ社会のニーズに対応できるような研究開発を行うことを目指しています。 ただし、企業においては直接製品化につながる応用研究に重点がおかれていますので、それを補間するために材料研究所では応用研究のみならず、材料の実用化に不可欠な基盤研究にも重点を置くことも重視しています。

また、材料研究所の高度な解析技術を最大限に社会に還元するために、企業との共同研究を推進して、企業や大学では成し得ない高いレベルの解析研究など材料開発の基盤となる研究も積極的に推進しています。

この報告書は平成１４年度の材料研究所の研究成果をまとめたものです。我々の研究活動に興味を持っていただければ幸いです。